

トンネル、大型ボックスカルバート修繕
個別施設計画
【富田林市】

令和 7 年 5 月

目 次

1. はじめに
2. 対象施設
3. 計画期間
4. 対策の優先順位の考え方
5. 個別施設の状態等
6. 対策内容と実施時期
7. 対策費用

1. はじめに

本市では、従来の事後的な修繕および更新から、予防的な修繕および計画的な更新へと転換を図り、トンネル及び大型ボックスカルバートの長寿命化により、修繕や更新に係る費用の縮減と平準化を図ることに加え、新技術等の活用の検討を行い、令和 9 年度までに修繕するトンネル及び大型ボックスカルバートで費用の縮減や事業の効率化等の効果が見込まれる新技術を活用し、費用を 1 割程度縮減することを目指します。

また、迂回路が存在し、利用者が限定的な橋梁については、令和 10 年度までに 1 箇所程度の集約化・撤去を検討し、令和 15 年度までに維持管理費用約 1 百万円程度コスト削減することを目指します。更なる費用の縮減や事業の効率化などに努めることを目的に、トンネル及び大型ボックスカルバートの個別施設計画を策定するものである。

2. 対象施設

富田林市におけるトンネル 1 箇所および大型ボックスカルバート 1 箇所を対象とする。

3. 計画期間

当該個別施設計画の計画期間は、5 年とする

4. 対策の優先順位の考え方

トンネル、大型ボックスカルバートともに1箇所であることから、5年ごとの定期点検結果がⅣ、Ⅲの判定となった時点で対策を計画するものとする。

5. 個別施設の状態等

トンネル

判定区分 Ⅰ	判定区分 Ⅱ	判定区分 Ⅲ	判定区分 Ⅳ	計
0 箇所	1 箇所	0 箇所	0 箇所	1 箇所

大型ボックスカルバート

判定区分 Ⅰ	判定区分 Ⅱ	判定区分 Ⅲ	判定区分 Ⅳ	計
0 箇所	1 箇所	0 箇所	0 箇所	1 箇所

6. 対策内容と実施時期

トンネル

(百万円)

トンネル名	路線名	建設年	延長 (m)	幅員 (m)	点検 結果	措置 内容	R	R	R	R	R	優先 順位	対策 費用
	所在地	等級					7	8	9	10	11		
廿山隧道	川西半田線	不明	58.0	11.0	Ⅱ (R6)	定期 点検							5
	廿山二丁目	D											
対策費用 計													5

大型ボックスカルバート

(百万円)

大型ボックス カルバート名	路線名	建設年	延長 (m)	幅員 (m)	点検 結果	措置 内容	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	優先 順位	対策 費用
	所在地												
甲田東西線	甲田東西線	不明	140.0	14.4	Ⅱ (R6)	定期 点検					↔ 4		4
	宮甲田町												
対策費用 計											4		4

※点検結果に記載の年度は前回点検年度を表す。次回点検は令和11年度を予定。

7. 対策費用

トンネル

(百万円)

計画期間	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年
概算費用	0	0	0	0	5

大型ボックスカルバート

(百万円)

計画期間	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年
概算費用	0	0	0	0	4